THE WOMAN'S WEEKLY

第貳巻　第十七號

毎週金曜日發行

大正五年四月廿一日發行

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

定價一部四錢五厘

郵送料五厘

本號目次

□違約に痲痺した我が國民……小橋三四子
□時事週評
□一人一評――國木田治子
□飛行家になる迄……アート、スミス
□名士と其の母(七)德田秋聲氏……
□男子と婦人問題……原口竹次郎
□貧しき子等の保姆……久野恭子
□簡單な珍味の考案……瀨田斬雲
□無錢療法……某醫師談
□今年の五月幟……
□晩春の流行……
□今週の惣菜……櫻井ちか子
□世界史お伽譚「希臘の七賢人」……斬雲
□名女傳「ブラウニング夫人」(中)……翠子
□小說窮鳥……松本雲舟
□時事……新刊紹介……編輯室より

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す。家庭的寄宿舍の設けあり。

ピアノ個人教授の需めに應ず

本郷區彌生町三番地

英語專門私立 **櫻井女塾**

電話下谷八一五六番

御婚禮夜會御化粧

（出張來館共）

御當日は御化粧より御着服に到る迄懇切に御世話申上ます、

美顏術御婦人化粧所

理容館主 **遠藤波津子**

電話新橋一五一九 振替一四一〇〇

理容館特撰化粧品

特製ライラック化粧水（金七十錢）（金五十錢）

ハイジエニック、クリーム（金六十錢）（金四十五錢）

理容水（顏用）白粉 金五十錢

同 煉（襟用）白粉 金卅五錢

固形ぬか 金十五錢

ガーセ手拭 金十二錢

理容ベンチ（衣服垢取） 金卅五錢

大黒天印甘味甲斐產葡萄酒

本品は純粹生葡萄酒にして品質優秀香味佳良藥用に適す。

大黒天印宮崎葡萄液

本品は赤白の二種ありて共に葡萄の果汁にして美味且滋養に富む毫も酒精分を含まざる故に飮て醉ふ事なく常に飮用せらるゝ時は血を增し肉を肥し衞生上無二の飮料なり。

宮內省御用達

發賣元 東京市日本橋區通旅籠町二番地

甲斐產商店 宮崎光太郎

電話浪花八七〇番 振替口座一九三七番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

違約に痲痺した我が國民

□

二度計り本社の人事相談部に、知人から依頼されたといふて、或る婦人の就職口を求めに來られた紳士があります。然るに二度共出來かけた時に、頼んだ知人に故障が湧いて、その依頼を撤回されたので、終には其の紳士は「今日は切腹です」と云つて、面目なげに詫られました。私は寧ろ仲に立つた方の迷惑を、この上なくお氣の毒に思ふた斗りで、この事の成行きは普通のやうに思はれるのでしたが、ふと省れば、約束を破る事を敢へて不思議とも思はぬ程に痲痺れて居る私共の心を憐れまずには居られませんでした。

□

昔の武士は然諾を尊んじて「武士に二言は無い」とて、一旦約束した以上は、娘の嫌がる縁談であらうと、强ひて取纏めて終ふはもとより、わが生命をも投げ出して、その約束を履行した例は澤山にあります。極端に走れば何でも弊はありますが、その精神は誠に尊いもので、さればこそ武士道といふ一種の靈妙な精神が養はれて、身體は矮小に、東洋に偏在する一小島國に過ぎぬ乍らに、一朝にして雄飛して、世界の强國に列する事が出來たのであります。

□

英國のスコットランドは宗教的天才を出すと云つて同國人の常に誇りとする所でありますが、今日でもその國柄は特に質實にして、然諾を尊んずる氣風は誠に盛んで、一旦約束を破つた以上は、紳士淑女の仲間入りが出來ぬと申す位の制裁があるとの事です。それ故世人の相談相手として凡てを引請けらるゝ牧師等の仕事も、「然り〳〵否々」と心地よく片付いて行くと申します。

□

「僞りのなき世なりせばいか計り人の言の葉うれしからまし」とは多忙の今日は時間勞力の經濟上にも一層强く感ずる所であります。或る婦人の團體で、會員の就職、結婚の世話をして居る所がありますが、其の經驗を聞くに、就職の方はとにかく、結婚は年に幾百件といふ申込みを受け、これに一々相當の手數と親切とを拂つて居るにも拘らず、昨年度に成立したものは僅かに一組に過ぎなかつた。これと申すのが丁度玩具屋の前に立つた子供のやうに、出來心で、人にさへ會へば口をかけて置くといふ輕佻な頼み手が多いからではあるまいかと語つて居られました。

□

先方が上の空の頼み方をすれば終には此方もお世辭一片に引請けるといふやうになり、頻々として約束は破られ、輕薄な氣風は瀰漫して參ります。もし眞面目に一事を實行しやうと思ふ時には、お伽譚の狼に喰はれた息子のやうに、頼んでも呼んでも、人が依頼を聞かなくなつて終ひませうが、その痲痺れた心を動かして行く迄には、非常な勞力を費さなけ —

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ればなりませぬ。

□

日本の富豪として知らぬ人も無い岩崎家の先代彌太郎氏は、時間を嚴守する事に於てまた有名でありました。どんな小さな會にも定刻より五分前には必ず出席される、現今の日本の通則として、案内狀にはいつも時間の掛値があるのを、それを承知の會衆は、一人も見えて居らぬ事が屢々であつた。然し氏は人が實行しないからとて、これに雷同すれば、いつ迄も改まる折はない。たとへ自分一人でも實行の先鋒をしたいのである。この一事でも完全に實行して見たいと常に心掛けて居ると云ふ事を聞いて、誠に尊敬するに足る、人格と感心した事がありました。

□

約束を守らぬといふ風がこの儘我が國民性となつて終うことは、誰れも嘆はしいことに相違ありませぬ。然し滔々としてこの嘆ずべき風潮は、社會に漲つて參ります。然し岩崎彌太郎氏の如きは一つの有力な水柵となつて、この風潮を塞き止められたものであります。人はともあれ一事宛でも氣付いた者から、實行して、この水柵を次第に大きくする事は、爲し得べくしてしかも小さからぬ德義であり國家社會の經濟であります。（三四子）

時事週評

▲ヴ井ラ將軍殺害　墨國の叛將ヴ井ラ將軍は、舊部下たりし一士官のために殺害されて、其の遺骸が某所に埋葬されてあつたのが發見されたといふとです。眞僞はまだ解りませんが、若しこれが眞實とすれば、米國がヴ井ラ將軍征伐のために墨國へ兵を出したのも、聊か拍子拔けのした感があります。永い間戰亂の巷となつてゐた墨國もこれから平和の世を迎へることが出來て、お目出たい次第です。

▲獨逸社會黨員狙擊　獨逸にて有名なる社會黨の領袖リープクネヒト氏は伯林にて一婦人のために一回狙擊されましたが、彈丸は命中しなかつたさうです。狙擊者が婦人で、狙擊されたものが社會黨員であるといふ事は注目すべき現象です。リープクネヒト氏は强硬なる非戰主義者で、獨逸の擧國一致の戰爭熱に常に反對の態度をとつてゐたので、今回のやうな事に出遇つたのでせう。その婦人は何者であるか、電文簡にしてわかりませんが、兎に角その婦人は直に捕縛されたさうですから、いづれその狙擊の動機が解りませう。

▲鐵材輸出禁止　英國政府は今回鐵材の輸出を禁止しました。日本の工業界もそのために大影響を受けるさうです。戰亂の影響がどこまで及ぶのか、大に驚かざるをえませぬ。戰爭が續けば續くほど、世界は大變な事になりませう。實にくだらぬ戰爭をしたものです。人間位、利巧なやうで馬鹿なものはありません。

▲今日此頃の花見　新聞で見ると、花見る人が上野三十萬、飛鳥山十萬と記されてゐます。實に太平の民たるを思はざるをえません。然かもその花見なるものが、俗惡極まる醉歌亂舞に至つては、嘔吐を催します。花見時の日本人は確かに五六十年昔に返つた感じがします。殊に女の醉拂ひなどを見るとまだ〳〵日本は未開國だと思ひます。眞に花を見る人それ幾人ぞといふやうな古い嘆息を新たにせればなりません。

▲小學生の刃傷　此頃小學生の刃傷が二つ三つ續けてありました。誠に憂ふべき現象と申さればなりません。半ば過失とは言ひながら友人を殺すに至つては沙汰の限りです。小學では、もつと情育に重きを置く必要があります。純なる感情、激すべき時にも腹の虫をおさへる事が出來るやうな感情を生徒に養はせたい。ナイフを生徒から取り上げる如きは極めて姑息な手段です。もつと根本に溯つて、感情の教育を豐かにせねばなりません。けれども感情の教育に於ては小學の教師自身頗る不備な點があるので、甚だ困つた次第です、德育の基礎として感情がどれほど大なるものであるかを小學教師達が自ら經驗せんことを先づ切望いたします。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（一人一評）

國木田治子

▲三越が國木田治子さんに對してどれ位ゐの月給を出してゐるか、それは疑問であるが、兎に角治子さんを雇入れたことが、三越の人氣を高め、又廣告としてどれほど得をしてゐるか解らぬと思ふ。獨歩の夫人である治子さんが三越の應接間にゐて、女給仕を監督してゐるといふ事實は、三越に出入する御客にどれほど好感情を與へるか解らない。三越にはどういふ重役や顧問がゐるのか、多くの人はその名前さへ知つてゐまい。けれどもその應接間には獨歩夫人のゐるといふ事は誰でも知つてゐる。それほど三越を通俗化するに於いて、治子さんの力は偉大である。されば物質上の報酬においても治子さんは三越の重役以上の月給を貰つてよい事になる。

▲獨歩には世間の知れる通り、戀人の先妻があつた。然かもその先妻は獨歩に背いて姿を隱した。獨歩は死ぬまでその先妻のことが頭にあつたらしい。さういふ心に傷手のある獨歩に嫁した治子さんは中々辛いこともあつたらうと想ふ。治子さんが一口でも、その先妻を批評でもすると、獨歩から叱り飛ばされたさうだ。けれども治子さんはさういふ事に神經をなやますほど野暮な女ではなかつた。そのために、家庭は至つて平和であつたらしい。

▲獨歩の生きてゐる間は、所謂その「愛弟」である收二さんが時めいてゐて、餘程金の助力もしたらしい。然るに獨歩の死んだ時分から、收二さんの方も次第に貯へた金を失くし初めた。收二さんは神戸で幅を利かしてゐた時分には、中々棘腕家のやうに想はれてゐたが、生來頗る善人なので、落ち始めたらば、裸一貫まで落ちて行つた。このために愛兄の遺族の面倒も中々見てやることが出來ぬやうな始末であつた。でも、今日では大阪に今度出來た毎朝新聞の主筆となられたので、これまでの逆境を次第に脱却することが出來るであらう。さうすれば自然に治子さんと其の子女も生活が樂になるわけである。

▲治子さんはあれで中々文章家である。門前の子僧習はぬ經を讀むといふが、いかに小說家の妻であつたにしろ、下地が好きでなければ、小說など書けるやうにはなるまい。治子さんが獨歩社經營當時の事を小說にしたものを見ても、中々筆の立つ婦人であることが解る。三越の應接間で、人情を研究したら、種々面白い事があるに相違ない。さういふ觀察を奇警な筆で書いたら、餘程面白いものが出來さうなものである。治子さんにそれだけの技倆があつたら、試みて貰らいたいものである。

▲文士の遺せる妻で、ほんとうの意味で働いてゐるのは、治子さんを以て第一とする。治子さんはその點に於ても先驅者である。治子さんたる者、子女を抱へてのその寂しき生活に於て、大に慰むる所あつて可なりである。（くも）

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

飛行家になる迄

「好きこそものゝ上手」理解深き兩親の援助

アート、スミス

過ぐる日青山原頭に三日間の宙返り飛行を演じて、滿都を驚嘆せしめたるアート、スミス氏は、如何なる家庭に、どんな教育を受けられたのでせうか。記者は一日帝國ホテルに氏を訪れますと、應接室に、其の無邪氣な相貌を現はして、快く次のやうに語られました。

□初めて飛行機の雛形を作る

私は幼い時から機械類を扱ふのが好きで、小學から中學とズーッと何時も暇さへあつたら機械類をいぢつたり、又それに屬する書籍やら研究やらに耽つて居りました。それでその熱心の余り中學も半途で退き、千九百十年私が十六の時、オハヨー州にあるデートンと云ふ人の工場に使つて呉れる樣に手紙を書きますと返事が來て早速受入れてくれましたので私は喜んでその工場に行つて働きました。そこで働く一方始めて飛行機の雛形を二三種造つて見ますと、大變に工合よく出來上りましたので、私は大喜びで間もなくインデヤナ州フヲートウエンの故郷に歸つて參りました。

□母の心配をなだめて

全體私の父は測量師でしたが、私は父母の間にはかなり遲く獨子として生れたものでその時でさへ既に父母の齢は可成り行つてゐたのでした。私が始めて飛行機建造の目的を話しますと、母は流石に女の事迚、危險であるから是非共思ひ止る樣にと、頻に申しましたが、私は飛行機に對しての熱心やら、又その準備に就いての說明やらを詳しくしますと、ヤッと納得して快く許して呉れました。

□第一に差支へた其の資金

四

父は自分も機械に携つた事をしてゐたので、私の機械に對しての說明なり心算なりを話しますと、これは最初から容易く聞き入れました、然し第一に困るのは金の事です。これには私も兩親もハタと當惑いたしました。父はもはや老年になつて居ります上、その頃から眼を惡くして居て仕事は出來ぬ樣になつてゐますし、一測量師の別に準備があるではなし、一寸困つて終ひました。然し幸に住宅丈は地所も拂込みが出來て居り、家屋も父が自らに出來る頃苦心して建造したものであつたので、「可愛い子供の爲なら少しも惜しくはない」と云つて、僅か十五か六の小供上りの私を信用して、その家を抵當に八百弗餘りの金を造へて、私の手に渡してくれました。

□一家の運命を賭せる飛行機

それで材料丈を買入れ、勞力は凡て自分が加へてその秋から建造に着手し、翌十一年の一月の始めアート家の全財産であり、又一家の運命を負ふ私の第一の飛行機が出來上りました。始めのうちは二十五呎か三十呎位、それから段々と二百呎も飛んで見ますと遂に墜落して身體に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も傷を負ひ、大事な飛行機もこはしました。身體の方は間もなく回復しましたが飛行機は仲々無費用ではよくなりません。アート家にある財産を調べて見ますと、天井裏から庭の隅迄のものを寄せ集めても二十三弗には足りぬのです。それでヤットの事で友人達、と云つても中學の友達位ですから、多くは持つてはゐませんが、まあ二弗五弗と借り集め、やつと三月目に修繕を終りました。

□窓口から見學

そのうちに飛行術も上達し自分にも見込もついたので、市俄古迄見學に出かけました。市俄古に行くと云つて旅費があるではなし私の飛行機建造を常に扶けて呉れた器械師と共に、飲まず食はずで市俄古に出て行つて、市内の有名な飛行機工場を窓口から覗いて歩きました。そして窓口からの見學で大に得る處があつたので、喜び勇んで故郷に歸ると、父に又相談して家屋敷を二番抵當に入れ、三百弗の金を得て飛行機に手入れを加へました。まあいろ〳〵故障もありましたが、考へ〳〵手を加へて、遂々可成りの高さで近い距離が飛べる樣になり後には七哩程離れた村に往復出來る樣になりました。

□初めて金を貰けた嬉しさ

そのうちに近村の人々も私の飛行技倆を認める樣になり、その近所のストレー

青山原頭に於ける豆自動車上のスミス氏と其宙返飛行振

タ競馬場の支配人が、私に同情して、無代で飛行場を貸すから飛行を見せたらどうだと云ふ事で、其處で初めて興行飛行をやり六百四十八弗手に入りました。この時の私の嬉しさは例へるものはありません、家屋と地所を二番抵當に入れてあるので、その事が寢ても醒めても忘られませんでしたが二百弗を揃へて銀行に拂ひ込むと親子共にホッと大息つきました

□喜憂交々到る

そのうちにテキサスに小さな博覽會が開かれ、そこに來て飛んではどうかと云ふ事であつたので、私は大喜び、此處でこそ立派に成功して、兩親も安心させ樣と、喜び勇んで出かけますと、凡ての望みも水の泡となり、墜落して機は微塵となり、私はヤッとの事で歸りつきました。歸ると又老父は西に東に馳け廻つて可愛い子供の爲に金策をするのです。又家屋敷を抵當にして六百弗を借り入れ、私は又飲まず食はずで市俄古に出かけました。そして十二年目には拂ひ込みの約束で、新しい好い飛行機を五千弗で手に入れました。これが私の第二の飛行機で、これになると私も經驗を積んだ後で機械も好し技術も上達し、大變成功して其年一時に八千弗の收入があり、翌年からは工夫してルーピング其他の曲乘り、夜間飛行等を案出したのでした。

五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名士と其の母（七）

小說作家 **德田秋聲氏**

□

私の母は、記錄さるべく餘りに平凡な女であるかも知れないが、お訊ねにまかせてお話しやう。母は名を竹と云つて今年七十六歲になる。私の少年時代に死んだ父と同藩なる金澤前田家の八家老の一橫山の臣で、五百石ばかりとつてゐた津田と云ふ人の娘である。母の父は、何か大切な錢を同僚に預けて置いて橫領されたとか云ふ事から、其男を刺殺して自分も切腹して死んださうである。母の里へゆくと、朝鮮征伐頃の分捕品らしい危險な短刀だの、大將株から下された古めかしい御墨付などを見せられた事を記憶してゐる。

□

母は恁云ふ武張つた家に生ひ立つたにも拘らず、他人をよく容れる柔かい感じのする人である。だから、子供が三人もある父に、後添として來たのであるが、兄等とは今日まで圓滿に仲よく暮して來た。自分が寬忍して、他人を責めぬ、其處に私の母の德がある樣に思ふ。むしろ殷し過ぎる位であらう。私は二十歲の時金澤の中學を終ると、上京して文學の方の修業をしてゐたが、其後一兩年過ぎて歸つた時一寸意見らしい母の言葉を聽かされたきり、あとは好き自由にさせて少しも干涉しなかつた。

□

私は幼少年時代から病弱だつた爲か、小學校に入り初めには、學問が嫌で堪らなかつた。時間が來ても教場に出ない事などがあつたから、母は大へん心配して色々とやさしい言葉で戒めた。が、却々勉强しないので、兄さん達に濟まないからと、或日、私を井の中へ入れて終ふと云つて井端まで擔いで行つた。此のおどかしが餘程恐かつたと見えて、それから私は、學校を勵み出した。この一件を除いては、母は唯やさしい人としてのみ私の記憶に殘つてゐる。

□

私が恁云ふ方面に自分の仕事を見出したについて、母から受けた感化と云ふ樣なものがあるか、どうか。唯、私は子供の頃から芝居が好きであつたから、時々は千兩役者も上る金澤の芝居を見に行つたので、母はよく小遣錢を吳れた。私の三つか四つの頃、父が何處かへ旅行した後で、母は私と姉とをつれて、朝暗いうちから芝居見物に行つた事がある。其時見た忠臣藏の二三段目の場面が、今でも目に浮ぶ事がある。そして未だ夜の明けぬ頃家へ歸りたいと云ひ出した私が、終々母や姉の見たいのを斷念させて、歸り出すと、案內の男が「今歸つちや仕方がねい」と云つてゐた聲なども記憶されてゐる。此時以外母と芝居を見に行つた事はなかつたが、お能は父母と共によく見た。然し私は中學へ行つてから、全く芝居と緣を絕つてゐた。

母は今金澤の兄の方にゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男子と婦人問題

原口竹次郎

ヂョーヂ・エリオットやサッカレーが、異性の人物を自由自在に書いてゐる所を見ると、男女兩性の間には、其の最も根本的なる點に於て、相異がないのではないか、其の證據には、男子の話は、學問上の事柄は勿論、世間一般の事柄に關しても、能く婦人に了解せらるゝ。了解せらるゝからには、男女兩性の間に根本的の一致がなからねばならぬ。と斯く考へらるゝ。併し、又一方から考へると、男女兩性の間には、只名目上の差あるのみに止まらずして、主要の點に於て異なつてゐるが如くにも見える、吾々が彼は男であるとか、彼は女であるとか聞く時には吾々は大人とか小供とかいふ事以上に相異の點と興味を感ずる。而して、男の問題と女の問題とは全然別のものであるといふが如き印象を得る。

× × × × × ×

そこで男子が猥りに女子の問題に喙を出したりなどする所を見ると、如何にも餘計な事をする男であると感ぜらるゝよりは、時としては實に醜惡な感じを與へる。婦人問題は成程所謂バーンニング・クエッションスの一であらう。併し、此頃雜誌屋の店頭に立つて見ると、雜誌の大部分は婦人雜誌である。而して其に執筆してゐる者の多くは男子である。私は婦人問題は婦人自ら解決すべしといふ考へを平生持てゐるので、婦人問題を論じてゐる所謂女子教育家を見ると、男子の間で生存競爭の出來ない人無き里の蝙蝠の樣な、男子間に於ける劣敗者の樣な、餘計な世話を燒く人の樣な、おせつかいの樣な、女好きの樣な、うるさい人の樣なつまらぬ人間の樣な、値打のない人の樣に感ずる。女子の問題に喙を出さないでも、男子間に於て戰ふだけの經綸と勇氣とだにあつたならば、男子の間に、男子自ら解決せねばならぬ問題が澤山にあるではないかといふ樣に感ずる。出版業者などが、婦人雜誌などを出すのは、其目的が利益を得るにあるのだから、譯が分つてゐる。併し一人前の男が女の事に就て大事な口に匙を入れてゐるかと思ふと實に情無く感ずる。

× × × × × ×

併し之は一面の觀察である、第一吾國今日の婦人は、獨りで身の廻りの始末をし得る程に進んでゐない。譬へば、女の學校に就て見ても、死んだ私の妻などが

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

崇拜して居つた人間は決して婦人ではなかつた。甲の先生も乙の先生も、崇拜してゐる者は、皆男の先生であつた。

家庭に就て見ても婦人目下の位置は誠に憫れむべきものがある。結婚後の事は扨て置いて、先づ結婚當時の事に就て見ても、此頃新聞に出てゐる花婿花嫁の寫眞などを見ると、花婿は三十二歳、花嫁は二十歳といふ樣な割合になつてゐる。活潑な豐富な經驗を持て來た男子と、箱入りに育つた女子の間に、譬へば同年輩の人を比べても、思想の上に雲泥の差がある。三十二歳の男子と二十歳の女子と比べた曉には、之以上の差があるに相違ない事は、火を見るよりも明かである。

然るに親は成るべく早く娘を結婚せしめやうとするし、男の方でも成るべく若い婦人を捜す樣な傾きがある。といふのは、彼等が畢竟するに結婚を精神的のものと考へて居らぬからである。一層露骨に言へば、彼等が結婚を肉的に解釋してゐるからである。女は男の玩弄物であると高を括つてゐるからである。結婚後の生活を理想し得る程の見識と自由を有せない者は、此頃の奧樣が屬つてゐる酌婦や娼妓と異なる所はない。奴隷たる事に於ては一である。只一方は、一人の男に奉仕するに反し、片方は多數の男子に接するといふに過ぎない。私が知つてゐる女子教育家の一人は、女學校を出たばかりの婦人は、何等自分自らの考へなるものを持てないといふ。此人は多數學生の相談役の位置にある人であるから、其言ふ所には十分の價値がある。

斯の如き一種の奴隷制度は何故に生じたか。之は畢竟するに、男子が結婚なるものを卑俗に解釋して、結婚を若い婦人に強要するからである。此點に於て、男子は女子の問題に向つて貢獻し得るのである。若し男子が婦人の精神生活に對し同情があつたならば、斯の如き無意味の結婚は存在しないに相違ない。婦人問題の中で男子が協力しなければ解決出來ない問題がいくつもあるであらうが、右の如きは其主要なるもの丶一である。斯んな事情があるからして、私は婦人問題に興味を持てゐる。

八

× × × × × ×

一體男子の玩弄物たるべく無意義の結婚をなして居つて、結婚後男子が壓制的であるなどこぼすのは、こぼす方が間違つてゐる、何となれば、其こぼす原因を自分で作つてゐるからである。

× × × × × ×

日本は由來とんちんかんな事に富んでゐる。大隈伯がアウトルックの記者に話した所に由ると、明治十二三年頃に、政府の役人は新聞記者を呼んで、言論は自由なものであると荐りに說いて聞かせたさうである。外國では言論の自由は新聞記者や政治家に依て說かれる。此方では政府が言つて聞かせる。婦人問題にしても、大騷ぎするのは男子であつて、婦人は多少雷同してゐる傾きがある。男子が婦人に覺醒せよ〳〵と叫ぶから、婦人は逆上してしまつて、彼等の間には・飛行機に乘りたいなどいふ慌て者さへ出てゐる。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貧しき子等の保姆

久野恭子

學習院女學部幼稚園主任野口幽香子女史の經營せらるゝ四ツ谷鮫ヶ橋の二葉幼稚園に於ては毎一日十五日の夜八時から、母の會を催して、子供の可憐な遊戯や唱歌に親達を喜ばせ、衛生や精神上のお話をして、家庭に必要な智識を養つて居ります。この母の會に臨んだ記者は、ふと作業服を着けて、オルガンを奏いて居らるゝ恭子さんに出會ひました。恭子さんは故本多監督の令姪で、數年前、その豐麗な筆に、多くの人々が前途に望みをかけた方です。然し今この清い仕事にかくれて居らるゝのは、何となく自然のやうにも思はれました。保姆一年間の感想を、疲れた一夜強いて筆とつて頂いたものはこの一篇です。

□

肉に於いて、自分は母ではない。けれども幼稚園の保姆と云ふ私の職業は、幾多の密接な交渉を子供と私にもたせて居る。其意味に於いて私には二十幾人かの子供が有る。園の子供の親は、世の中の普通の水準よりも下つた階級の、貧民である。故に親達を働かせて其生活を助ける爲に、又子供自身を其投やりな周園から救つて、より善き發達をせしむる爲に、園の保育時間は、普通のそれよりも極めて長いので、從つて子供と私達は、普通の保姆と園兒よりも交渉が深いので有る。

□

過ぎたろ一年に、私は私の子供達と、春の日を歩み、夏の日を歩み、秋を歩み、冬を歩んだ。私は決して其がいそしんだ歩みの連續であつたとは言ひ得ない。さうして言ひ得ないのが悲しい。歩んで〳〵一年を歩み終らうとした時に、私ははつと目覺めた樣に、私と共に歩みを續けた子供達の色づけられた色彩を見た。私の染め上げた色を見たのである。あゝ其時、私は激しく打たれて、悔いと慙愧に責められた。染め上げられた色は、醜かつた。落付きのない苛立たしいものであつた。

□

私の努力の足りなかつた爲、私の觀察の屆かなかつた爲に、私自身の缺けたる要素の爲に、子供達の歩るいて來る道を間違へさしたのは勿論で有る。がもう一つ、子供の仕上げられた色彩の中に、過去一年の私、混亂した、底强情つ張りの負惜みな醜い私の姿が、まざ〳〵と織込まれてあつたのは、此上もなく慘酷な刑罰であつた。

□

「我が羊の群よ、私の恐しい過ちと、罪惡を許して下さい。私はお前達に許して貰ひたい。」と私は私が犧牲に供した可憐な、又貴い二十幾つかの靈魂を前に置いて、切つない反省に目覺めて、身悶えをして苦しんだ。苦しんでも、悔んでも、焦つてももう追付かない。

□

數日前私は、ストリンドベルヒのものだとか云ふ六歳の女の兒が自殺しかけた話を或物の中に讀んだ。私は戰慄きを覺えた。自分の仕事に氣を取られて、子供のことを閑却して居る母親が、傍を歩き廻る子供をうるさいと叱つた。子供は母親の云ふ通りにしても次から次へと叱られて行つた。遂に遣瀨なくなつた子供は、高い窓を目掛けて走り寄つたと云ふ。まさか是程迄にはない、が然し是程迄になくとも、これに似通つた小さい私が、過ぎた一年の中にありはしなかつたらうか、或時或場合に私はなかつたとは言はない。私は神の前に許しを乞はなければ成らない。

□

けれども今や、努力と希望にみちた美しいみどり色の生活は靜に私の前に展開されつゝ有る。此新らしい子供に對して此一年を、私はあせらない意味に於いても最上を盡して行きたい。而して過ぎたる過ちを積極的に償ふべくもう一年の努力を許して呉れた私の生活の指導者、亦或意味に於いては私の雇主である園の主責任者に對して私は感謝の念に堪へない。

願くは此一年の私の歩みが、謙つた、またいそしんだ歩みの連續であらんことを。（大正五〇四ノ十七夜）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

簡單な珍味の考案

余が養生法(續)

薄田斬雲

△おろし生酢

之は先づ鮪なり平目なりを生で刺身の大きさに切り、酢に漬けます。次に大根をおろし金でおろします。但し從來のわさびおろしでは面倒で且つ汁ばかりになつていけません。此頃金物屋に賣つてある、極くあらい大根おろしを用ゐるのです。それでは咽喉に支えるだらうと言ひますが、どうして大根はやわらかいものですから、あんなあらいおろしで丁度好いのです。扨て此の大根おろしだと大きな大根一本位は五分間でおろせます。十人前位のおろしを作るには、造作もありません。此のおろしに前きの酢に漬けてある魚の切身を交せ、砂糖を少し入れて掻き廻し、其儘食ふのです。甚だ簡單にして田舍じみて居ますが、東京式のぬたに比べたら上品で、淡泊でうまくて、上戸にも下戸にも適します。之が東北地方の生酢と云ふ料理です。

△黒豆の煮汁

黒大豆の汁は滋養になるとか、聲が善くなるとか言つて賞用しますが、鹽氣がなくては甘たるくて飲みにくいものです。併し煮豆屋式の硬く煮た黒豆は却々不消化なもので、多く食ふと胃を害します。そこで私の處では水を多くして、黒豆を煮、之に鹽と砂糖を加へ、子供等は其とろ〳〵した汁を御飯にかけて食ふのです。汁が無くなると、又水を入れて煮返し又汁を作る、斯うして、豆は滋養分を吐き出してそつぶがらになるのです。飯に砂糖をかけて食ふ甘黨もある位ですから、甘黨には此の豆汁は甚だ有効な好物です。そして日數を經過しても容易に腐敗しません。

△刻み玉菜の醬油浸し

玉菜を細かく刻んで、生の儘醬油と酢と味淋と適宜に交せた丼の中へ浸し、一日も經つて食ふのです。食慾が缺乏して何を食つても不味い樣な時でも、之ならさつぱりして嚼んで見る氣になります。何日經つても變りません。ほうれん草や、小松菜の浸しなどよりはズットと上等です。白菜の好く出來たのや、花野菜なども此の生浸しには適します。

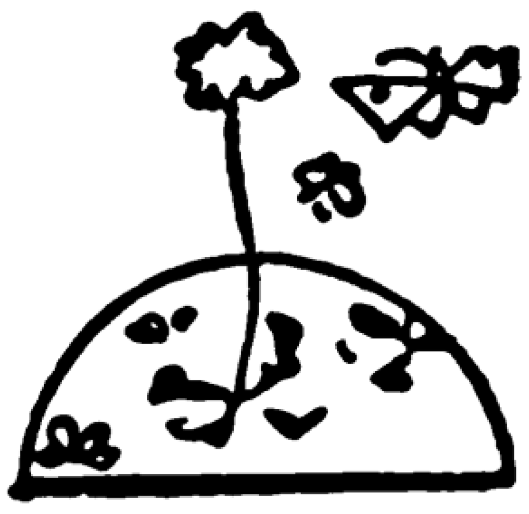
△急拵への吸物

客膳には是非吸物を欲しいと云ふ人があります。夫れで急に拵る場合の便法としては、櫻湯へ、するめと、昆布を短冊切りにして入れるのです。最初櫻漬けとするめなど椀に入れ、夫れに煮湯を注いで蓋をして置き、少し冷めた處を一口やつて御覽なさい、立派な吸物です。牛肉店などへ飛込んで、吸物が無くて困ると云ふ人は、近所の漬物屋から櫻漬けとするめの一枚も買つて行き、湯を取つて急拵への吸物を作ると結構です。

△豆汁

豆は滋養がある、豆腐は滋養があると能く言ひます。だがニガリの入つて硬まつた豆腐よりは、ニガリの入らない摺豆を其儘煮て食ふのが一番滋養になるでせう。近所の豆腐屋へ注文して、豆の摺つたのを買つて味噌汁へ落して煮ると、プッとふくれてふわ〳〵した美味いものになります。豆腐よりは消化も好いと言ひます。以上は、私の處で田舍料理として始終拵るのです。東京の上品な、體裁一方の料理の合間には之も結構です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



無錢療法（一）

某醫師談

腹痛の場合

絶食するに限る

喰べ過ぎや、何か食物に中つて腹痛と下痢の作ふて來る場合は、始終ある事です。この時の療法には三つあります。第一に惡いものを人工的に吐き出す事、第二に溜つて居る下痢便を出して終ふ事、第三に空になつた腸（腸はこの時所謂腸カタルを起して居ります）に休息を與へて、自然の治療を待つのであります。

□惡い物を喰べた事が解つた時には、食事後二三時間迄ならば生温い食鹽水を少し濃くして飲むか、指を口中に入れ、舌の奥を強く押して嘔氣を催させて吐き出して終ひます。

□もしも一晩位も經つて、既に腸カタルを起して來た時は、出來るだけ身體を靜にして居て、―輕い場合は寢るにも及びますまい―度々便所に行つて、出る丈け出して仕舞ひます。

□それでもまだ腹がゴロ〳〵云つたり、痛んだりする場合は、藥屋に年齢を云つて適量のヒマシ油（リチネー油とも云ふ）を買つて來て、これを水に浮かして一度に飲むと、きつと通じが完全に出て、腸の中は全く空になります。ヒマシ油は安いもので、且つ少し位飲み過ぎても害のないものです。然し不味いものですから一度に我慢をして飲まぬといけません。あとは梅干か何かを一つ口に入れて置くとすぐ味は消えます。

□今度は腸胃に休息を與へなければなりません。もと〳〵人間の身體を作つて居る道具は藥をやつた所が、それが直ちに利いて元通りになると云ふのではなくて、病氣の進むのを止め、またはその程度を弱め、又はあらされた後の始末をつけるものなのですから、何もかも藥萬能の如く思ふのは間違ひです。即ちこの場合も胃と腸に休みを與へてやれば自然に直ります。

□云ひ換へれば絶食をするのです。この回數は二食か三食、全く食物をとらず、濃く出た番茶か葛湯位をとつて、他に何も食べないのです。かうするとその間に自然と直つて來ます。翌日位からは粥か飯の軟かいのを控へ目にされればよろしい。お茶と葛湯は他に幾分か藥の役目をします。

□この治療の間に、腹部を冷さぬ事が肝要で、腹巻きでもすればなほよいと思ひます。

□なほ何れの場合も同じですが、極めて猛烈に來た下痢や腹痛は、醫師の診察を乞はねばならぬ事は、云ふ迄もありせん。

今年の五月幟

次第に内飾りに赴く

優婉な彌生の節句も過ぎて、凛々しい尙武を基とした端午の節句ももう目の前に迎へる様になりました。桃太郎、辨慶、義経、何と男々しい姿でせう。今年は單に美しい、勇ましい、子供の見て喜ぶものと云ふ以外に、美術品として取り扱はれる様なものが、澤山に列べられてありました。木彫の變つたもの、又練物の鍾馗にも中々に面白いものが澤山見受けられました。先づ床飾用の枠は二三圓から、陣道具は七八十錢から、鍾馗、飾馬は一圓四五十錢から、武者人形は一二圓からありますが、割合に廉價でも、氣持のいゝ飾物が得られます。吹流の鯉や幟等の屋外裝飾には、室内のもの程工夫をこらした者を見受けませんでしたのは、やはり時勢の變遷の一端とも見られました。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

晩春の流行

なほ續く遊樂期に

あはたゞしい春はもう暮れやうとして居ります。若芽は日に〳〵延びて、もうもゝの影がなつかしまれます。躑躅花や牡丹やなほ一しきり遊山の期節はつゞきます。洋傘と履物の今年の流行はどんなものでせうか。

□洋傘

去年の濃厚に反して、薄目に、而し明瞭した色で大體から申しますと、白茶系統或は紺系統に屬するものが、其の中心となつて、金茶、クリーム、鶯茶、利休、海老葡萄、薔薇、錆葡萄、紫紺、錆紺、鐵色などが多く、柄は先づ以上の色に極めて濃厚な繻子糸で織り出した縞。或は絞り縫ひを應用した模樣。或は縁に伊太利式ドロンウオークを施し、これに薄色の裏をつけて二重張としたもの等が本年の新らしい試みとも見られます。而し常時用としては、いゝけんざん張が昨年と同じく澤山出るとの事です。柄は象眼入か銀の透刻で、ヅン筒型になつて居ります。近頃考案されたミカド傘と申しますのは、柄も裂も全部取はづしが出來ますから、旅行用としては非常に便利です。

□履物

之れも極く輕いのが用ひられますのでキルク草履等はこの需要に適したものです。然し水にあひますとポロ〳〵かけますから、此を防ぐ爲めに、クロムを張つたのがあります。これは極く輕くて水に強く、皮が堅くなることが無いとの事でした。いゝばず張りの草履は誠に涼さうです。

下駄も一寸か一寸二三分位の高さで、下丸の輕いものがよく、新彌生型と云ふのは、臺が足なりになつて居りますから大變履き具合もよく、普通の下駄のやうに後べりのする事も少なうございます。

□手提袋

手提は次第に流行して來ましたが、これからはレース糸で編んだもの、お召に刺繍をして、銀製の金具を付けたもの等が喜ばれます。（三越調）

今週の惣菜

櫻井ちか子

△醤油漬けの豚　豚一斤を六切位の大切に切り醤油へ二三時間漬け、後にフライ鍋に少量の胡麻油を入れ、よく煮立つた處へ豚の醤油を切つて、裏表てが狐色になる位ゐに燒き、適宜に切つて熱い中に食すのです。

△簡易サラド　キヤベツを五分位に切り、極くざつと茹で次のソースを掛けて前記の豚の附け合せに致します。ソースは醤油五勺、酢五勺、砂糖茶匙一杯に胡椒とカレー粉を適宜に加へ、十分間位ゐ煮、冷めてから用ひます。

△筍の子のそぼろ煮　筍の子を茹で、灰を出し適宜の厚さに切つて、醤油と水とを半々にして、此の中に砂糖を加へ、筍の子を入れて煮ます。味が附きましたらば筍の子を取り出し、其の後へ豚の挽肉を入れて一寸煮、筍の子の上に露と共にかけて出します。

△蕗の梅煮　蕗の葉と莖とをざつと茹で、水を絞り、葉は細かに刻み、莖は五分位に切つて梅干と共に醤油で煮るのです。砂糖は好みによりて用ゐても用ゐないでも宜しい。蕗は少し苦味がありますが、老人等は反つてこの苦味を喜ぶものです。

△鹽昆布　昆布の厚いのを撰び、藁だわしで砂をよく掃きとり、五分四方位に切りましたらば、材料を蔽ふ位の醤油と鹽一撮の中で、とろ火で煮詰まる迄煮るのです。これは上方地方で多く拵へる煮方で、熱湯をかけて、お茶の代りにし、又はお茶漬の中に入れて食べるのです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界史お伽噺

希臘の七賢人とデルホイの寶物

斬雲

昔で、小亞細亞のミレトスと云ふ國の濱で、漁夫共が大勢で地曳網を張つて居ました。折柄一人の旅人が通り合せて、面白さうに見物して居ましたが、やがて旅人は漁夫の親方に向ひ『どうだ、此の網に入つて居る獲物を全部賣る約束をしないか？』と申しました。親方は考へて『然樣ですな、賣らない事もありませんが、然し網が揚がつて見なければ、何れだけの獲物があるか、少しも見當が付きませんことで、どうせ、夫れは値段の相談で極まる樣なものですからな』

旅人は之を聞きまして『夫れは承知だ。聞けば此頃は餘り好い漁でもないと云ふし、大抵七八圓位の取り高だと聞いて居る。では十圓と定めてはどうだ、私も見込買ひをするのだから、儲かるか損するか知れたものではないのだ』と言ひました。

親方は考へて居ました、やがて『宜しうございます。十圓で手を拍ちませう』と、遂う一網の獲物を十圓で賣る事に定めました。やがて網が揚ると思ひがけなくも黄金製の三脚臺が魚に交つて入つて居ました。之は十圓や廿圓の代物ではありません。何千圓と云ふ値段のものですから、漁夫共と旅人との間に爭ひが起り旅人は『一網全部買つたのだから、三脚臺も此方のものだ』と言ひます。漁夫は又『否や、一網の魚類を賣る約束したので、魚の外は此方のものだ、何千圓とするものを遣つて堪るものか、』と言ひ張ります、そこで双方話が折合はず、ミレトスの裁判所へ訴へ出でました。裁判官も此の訴へをば持て餘し、同地に名高いデルフオイの神樣のお告げを乞ふ事になりました。

處が神樣のお告げには『最も賢こい人に行つて判決して貰ふが好い』と云ふのです。當時ミレトスで、第一の賢者はセーリスと云ふ人でしたから、一同打揃ふてセーリスを訪れ、裁決を乞ひますと、セーリス笑つて『いや、今の世に賢者が澤山ある。私などの出しやばる幕でない』と謙遜してプライニの町に住むバイヤスと云ふ賢人の所へ往くが好いと言ひます。一同依つてバイヤスの處へ行きますと、バイヤスは、ミチリニのピッタカスは私以上の賢者だと言ひます。處がピッタカスは又、アゼンスのソロンが私以上の賢者だと言ひます。ソロンは又スパルタのカイロンが私以上の賢者だと言ひます。カイロンはリンダスのクリオピユラスが私以上の賢者と言ひ、クリオピユラスは又、コリンスのペリヤンダーこそ私以上の賢者だから其處へ行つて判決して貰ふが好いと申しました。處がペリヤンダーは又ミレトスのセーリスこそは私以上の賢者だと云ふので、遂う裁判は元へ復りました。斯うして次から次ぎと、七人の賢者を持廻つた果てに、件の黄金の三脚臺は、彼のデルフオイの神樣に差上げるが好い事になりまして、神樣の廟に納められました。之からして右に擧げた七人は希臘の七賢人と呼ばれて後世迄名を傳へられました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界名女傳
ブラウニング夫人（中）

□

エリサベスが病弱で人に逢ふを好まないのを知つて、ブラウニングは會見切望の旨を記した手紙を送つて、彼女の承諾を求めた。エリサベスがなほ躊躇して居るので、彼は其病室に飛び込んで看護婦の許を乞ふた。そして久しく崇拜して居た女神をまのあたり見る事を得た。彼は初見參の時直に其愛情を彼女に訴へた。彼女はそのあまりに唐突なるに驚いた。其上羸弱の體であつたから、戀愛などの事は考へて居なかつた。それでブラウニングの詞には返事も與へないで「歸つて下さい」と云つた。

ブラウニングは少しも失望しないで、再三再四求婚の申込をして憚からなかつた。其説得の仕方がよほど巧妙であつたので、彼女の心はいつとはなしに引きよせられて遂に之を承諾するやうになつた

□

一八四六年の九月にエリサベスは、長年閉ぢ込もつて居た暗い室から力なく立ち出でゝ、マリルボンの教會で、ロバート、ブラウニングと華燭の典を擧げた。そして新婚の夫妻は相携へて伊太利に旅行した。そこで新婦は忽ち健康を回復した。新生命を得たため、心も輝き、身體も丈夫になつた。

ブラウニングの友人は彼等の結婚後の有樣を左の如く叙した

「彼等の如く幸福なる家庭と完全なる和合は容易にあるまい。それは二人の勝れた性格から來たばかりでなく、相互適合した伉儷であるからに違ひない。夫人は天才と學問に秀でゝ居ると同時に溫和な氣質と純潔が精神の所有者である。少しの不滿も不足も感じて居ない此二人の和合は、想ひ起すだけでも慰藉を感じさせられる」

□

伊太利のピザは風暖かに氣淸く、體を養ふに格好の土地であつた。夫妻こゝに滯在して居る中に、夫人の健康は大變に回復した。夫人は友人に手紙を送つて

十四

私の生涯の最大事變は四ケ月をここに經過した。秀麗な空氣の助けによつて體も強く、心も嬉しくなつた。以後は良人と相助けて多くの作物を出さうと思つて居る。二人の詩人が何の爭ひもなく、琴瑟相親んでゆく樣を世に知らせたいと思ふ。

氣候は私の身體に最適して居るから、今しばらく此處に滯在しやうと思ひます。場所の閑靜で寂寞なのは別に遊樂に慰藉を求めやうとしない私等に取つて、少しも苦になりません。もし私が全く强健になつたら、駱駝に乘つて砂漠を横ぎり、エルサレムの舊跡も訪ひたいと思つて居ます

と云つた。（翠子）

讀者に告ぐ

全譯「何處へゆく」はあまりに長篇なので、一週間に僅か二頁では、中々完結いたしません。それ故皆さまが御倦屈なさるだらうと思ひまして、中止することに致し、その代りに極めて輕い創作や飜譯物をこれから掲載いたします。全譯「何處へゆく」は飜譯を急いで、おそくも來年中には單行本として皆さまへ御目にかけるやうに致したいと思つてゐます。

雲舟申す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説 **窮鳥**（上）

雲舟

一

牧野は夜更けまで友達の家で喋舌つてゐたが、その歸りに外濠線の電車を飯田町で降りて、江戸川行に乘りかへやうとした。十三夜位の丸味を帶びた月は川の水に寫つてちら〳〵した。街角の店の電燈は明るかつた。停電でもしてゐるのか、電車の線路は寂然してゐた。春はまだ淺いので、川風が寒かつた。牧野は見るともなしに薄暗い方へ眼を向けた。そこに一人の若い女が電車を待ちあぐんでゐるやうであつた。月明りにすらりとしたその姿と白いその顏が見える。

牧野は歩くともなしに女の前の方に歩いて、その顏を眺めた。女は耻かしさうに顏をそむけたが、艶のある邪氣ないその細面が牧野の眼に入つた。丸髷に結つてゐるが、まだ二十を越して間もあるまい。牧野は少し離れて氣を付けてゐると、女は鴇色の肩掛に首を埋めて、嘆息でもついてゐるらしい聲が聽える。首を左右に振つたりする所を見ると、なにか想ひなやんでゝもゐるらしい。牧野は不圖狂女ではなからうかと想つた。そして尙見ぬ振をしながら、氣をつけてゐた。

電車を待つ人々は次第に增した。外套を着た一人の青年がいつのまにかそこに現はれて、これも矢張女を注意してゐるらしかつた。牧野の好奇心はそのために薄らいだ。人並みに女を注意するといふことが耻しかつた。で、女から眼を離して、飯田町の街道を眺めたが、家並の軒燈の灯ばかりで、電車の光らしいものは見えなかつた。牧野は待ちあぐんで、又女の方に眼を向けざるをえなかつた。すると女は突然驅け出して、三四間闇を走つたかと思ふと、直ぐ又立留つた。牧野は益々變に想はざるを得なかつた。

二

でも、牧野は女のことは忘れたやうに、女の側を通つて、泡盛と硝子戸に書いてある家の前に往つて、その家の内を覗き込んだ。内には長い食臺の上にお膳が澤山に並べてあつて、小さなコップが幾つも一つのお膳の上に載せてあつた。炭火がかん〳〵した前に、一人の職人らしい男が跨を廣けて温つてゐた。

牧野は勞働者の樂しい食堂である此家を飽かず覗いてゐると、突然後方から下駄の音がして、自分の側へ寄つたかと思ふと、

「もう、何時でございませう」と若い女の聲がした。

振向いて見ると、例の女だ。女は牧野の眞似をするやうに家の内を覗き込んだ。けれどもそこには柱時計が懸つてゐなかつた。

「さあ、何時でせう」と生憎時計を持つてゐなかつた牧野は一寸言ひ淀んだが、どうして女が見も知らぬ自分に聲をかけたのか、それが何によりの不審なので、家の内から輝く電燈のあかりで、まともに女の顏を見た。額が少し出てゐるが、中々美人だ。霜降りのコートをきて、全體が粋つくりである。牧野は不圖これは

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

職業的の女ではないかといふ疑が胸に浮んだ。

「さあ、何時でせう」と、それでも牧野は何氣ない返事をして、泡盛屋の隣りの料理屋を覗き込んだ。その家には柱時計が懸つてゐた。

「此家の時計は十一時に二十分前ですが、少し進んでゐるやうです。まだ十時位のものでせうよ」

「さうでせうか。私、困つてしまひました。」と女は一寸顏をしかめて、「もう、車は參らないのでせうか」

「車つて、電車ですか」と牧野は聽き直して、「まだ參りますとも」

あたりの人々は牧野がこの美しい若い女と言葉を交してゐるのを不思議さうに見てゐた。後の方で、「畜生」といふやうな罵る聲がした。

「私、江戸川の終點まで參るのですが」と女はなれ〳〵しく、「あなたはどちらへゐらしやるのですか」

「私も江戸川の終點の方へ參ります」と牧野が答へた。

「あら、まあ、さうですか」と女はさも元氣づいたらしく嬉しげに叫んだ。

「では、御一緒に參りませう」と牧野は女の正體を見屆けたさに、語を進めた。

「えい、どうぞ、でも、御家は終點の御近所ですか」と女は少しも牧野を疑はぬらしい。

「えい、さうです」と牧野は面白くなつて、「あなたは」

「私は、音羽四丁目の上です」と女はすら〳〵と答へる。

「では、永樂病院の前あたりですか」と牧野が言つた。

「さうですの、あの坂の上です」と女は獨語のやうに附言した。「今夜こんなに晩くなつちやつて、私、困つてしまひました。電車が來なければ、私、俥で歸りませうかしら」

牧野はこゝで女を逃がして仕まうのが惜しくなつて、「もう來ますよ、來る時分です」と當もなく唯保證した。

三

この保證は偶然にも當つて、飯田町の通りの曲つた所に、電車の灯りが見え出した。

「そら、來たでせう」と牧野は女の美しい顏を見た。

十六

「まあ、ほんとうに」と女は足を一歩前に出して、「でも、雜沓でゐて乘れないでせうね」

「えい、雜沓でゐませうよ、なんなら、一つ待ちませう」

「さうですね」と女が言ふうちに、溢れ出るやうに滿員の電車は停留場に留つた。待ちに待つてゐた人々は爭ふて乘らうとした。

牧野と女とは矢張電車の方へ歩みを運んだが、到底乘る氣になれなかつた。

「こんなに晩くまで、何處へゐらしつたのですか」と牧野は人々が電車へ乘らうとしてもがゐてゐるのを見ながら言つた。

「え、あの、有樂座へ」と女も矢張電車を見ながら答へた。

「呂昇を聽きにですか」と牧野は今朝新聞で見て、自分も往きたいと思つてゐたので、直ぐ思ひ浮んだ。「まあ、よく、御存じなのね」と女は薄暗がりに驚いたやうな品をした。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

◉伏見宮邸に行幸　雨晴に春の風情の一入添へる十六日午後二時　聖上陛下には紀尾井町なる伏見宮邸に行幸あらせられ御少憩の後、能樂、奇術、歐洲大戰爭、スミス宙返りの活寫動具等を御觀覽あらせられ午後八時過ぎ御機嫌麗はしく御還幸相成りたり。

◉觀櫻御會　天皇皇后兩陛下には十九日午後二時三十分宮城御出門濱離宮に行幸啓あり、各皇族方を初め内外臣僚約一千五百餘名をお召しの上、爛漫たる櫻花の下に觀櫻の御會を催されたり。

◉經濟會議官制委員發表　十五日勅令第百八號を以て、聯合國經濟會議に參列せしむる爲、臨時職員設置の件を公布し即日より施行したり。右に就き同日特派委員長並に委員を左の如く任命ありたり。

聯合國經濟會議特派委員長被仰付　法學博士男爵　阪谷芳郎

聯合國經濟會議特派委員被仰付
大使館參事官(駐佛)　田付七太
海外駐剳財務官　森賢吾
農商務書記官　鶴見左吉雄
大藏技師　矢部規矩次
大藏書記官　田昌

聯合國經濟會議特派委員被仰付(各通)
大使館三等書記官(駐佛)　杉村陽太郎

◉新合祀百五十　九段別格官幣社靖國神社にては來四月廿九日より五月一日まで三日間、臨時大祭を執行せらるゝに付、畏き邊にては大正四年四月二十八日臨時大祭に於て日獨戰役に戰死したる陸海軍人九百九十九名合祀仰出されたるが、猶來る卅日には大正三四年の戰役に關し戰死したる百五十柱の英靈合祀仰出されたる旨、十四日陸海軍省告示を以て公示せられたり、尚海軍職工勳八等川田五郎外二名も特旨を以て合祀さるゝ旨仰出されたり。

◉聖恩枯骨に及ぶ　十一日江藤新平以下に對し左の通り贈位の御沙汰ありたり
贈正四位故江藤新平　贈從四位故島義勇　贈從四位故前原一誠　贈正五位故桐野利秋　贈正五位故篠原國幹　贈從五位故奧平謙輔　贈正五位故大山綱良　贈從五位故桂久武　贈從五位故村田新八

◉乃木神社成る　故乃木將軍の別莊ありし栃木縣下石橋へ、縣社乃木神社を創建すべく、同縣有志者發起となり、大正二年以來同別莊へ本殿拜殿社務所等建設中なりしが、全部竣工したるを以て、去る四月十二日愈玉木少佐邸内なる故將軍の靈代を遷し、森嚴なる鎭座式を行ひ、十三日には鎭座奉祝祭、御昇格奉告祭並に第一回例祭をも行ひ滯りなく遷座の式を終りたり。

◉病教師の處置　從來教員中の肺結核患者多き爲め、兒童に傳染する事多く、殊に滋賀縣にては戰慄すべきものありし爲め、當局は遂に學校衞生主事をおき管内小中學校教員より小使に至るまで、體格檢査を斷行したる處、小學教員二千八百十三名、中十八名、中學教員二百三十一名中一名、中小學小使四百卅六名中五名の結核患者を發見したるより、これ等のものは遂に退職を命じたりと。尚ほ之等退職の教員に對しては、慰藉の方法を講究中なるが、東京府を始め、各府縣にても、目下最善の方法を講究しつゝありと。

◉女醫の緬甸行　東京女子醫專にては今回英領緬甸に二女醫、二産婆兼看護婦を送る事となり、一行は十九日東京驛發二十日神戸より古倫母丸にて出發の豫定なり。今回の選に入りたる女醫依田まつの子(二五)は長野縣南佐久郡平賀村の人にて大正元年十月女醫となり、後も引續き母校に於て耳鼻咽喉科を專攻、同嘗野國榮子(二六)は高知縣高岡郡須崎町の人にて大正三年女醫となり、母校にて研究の傍四谷區谷町なる傳道教會附屬施救部に務め、稻垣、湊の兩産婆は院長吉岡女史の門下中質に出藍の擧ありたるものなりと。右につき母校に於ては十七日盛大なる送別會を催したり。

◉ヴイラ將軍の死體發見　墨國叛軍の將ヴイラ將軍の死體發見せられ、目下チワワに向つて輸送中なりと。果して事實なりとすれば、同國多年の騷亂も一先づ終結を告ぐべきか。

◉リ氏狙撃さる　獨逸にて有名なる社會黨員リープクネヒト氏は伯林市街にて婦人の爲めに、二回の狙撃を受けたりしが彈丸命中せずして、犯人は直に捕へられたりと。

◉米國作家死去　米國有名の小說家、劇作家にして日露戰爭の當時從軍記者として我國に來朝せしことあるリチャード・ハーディング・デヴィス氏は突然心臟病を起し紐育に於て死去せり。

◉鐵材の輸出禁止　英國政府は銑鐵、鋼鐵、鐵道材料、造船材料等の輸出禁止を發表せり。之が爲め當地の日本商人は大恐慌を起せり。日本造船界は一大打擊を蒙るべし。

◉紙價は漸次平調　製紙は一時二三割の暴騰を來し、殊に其の底止する所を知らざるの形勢なりしより、製紙商等は何れも先高を見越して、盛んに買入れを行ひたる結果、今や東京、大阪いに製紙商は夫々少からぬ在荷を擁し、之れに對して地方

十七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の一般出版業者は何れも紙價昂騰の爲めに其消費を差控へたるより、製紙需要高は著しく減退し、市價亦た多少下落の氣勢あり殊に海外輸出も既に一段落と爲れる折柄パルプの內地製造額は益す增加るの筈なれば紙價は是より一層下落を見るべく漸次平調に復するの日も遠からじ。

◉英國輸入税改正　山崎倫敦總領事代理よりの報告に據れば、英國輸入税の改正は四月五日より實施さるゝものなるが、燐寸一萬本に付三志六片を課せられ、砂糖は一封度に付二分一片を增加し、ココアは一封度に付二分一片を、珈琲及チコリーは三片より六片に引上らるゝ者也。

◉特志家の寄附　數日前本社の主幹を訪づれて或る要件につき相談せられたる某紳士は、金三圓を何なりと本社より慈善事業に寄附せられ度しと依托せられたるにつき、其の一半を四ッ谷鮫ヶ橋の二葉幼稚園に、他の一半を巣鴨櫻楓會托兒所に寄附したり。

新刊紹介

□實踐「一日一善」講話　（山本瀧之助氏著）「一日一善」の弘布に資せんとする著者が、各所から材料を蒐めて、「一日一善」の發芽から說き起し、其の成長、其の根底、其の成果を實例澤山に、極めて平易に說明された者であります。各家庭に供へて置けば、主人から使用人迄喜んで讀み、且つ實踐を促されませう（發行所東京麴町區平河町五丁目洛陽堂定價七十錢）

□神經衰弱獨療法　（古屋鐵石氏著）醫藥の効を借りて癒し難かりし著者自らの神經衰弱を、精神療法によりて治癒、以來十年數千人の人々を全治せしめたる經驗より案出したる獨療法を記したであります。（發行所東京芝區琴平町三精神研究會定價二十錢）

▲家庭教師の口　地方から出京して、國漢の検定を取らうといふ廿六歲の婦人が、通ひの家庭教師に願はれたいと申して居ります。（記者）

▲英語教授　英語の最高教育を受けた廿五歲の婦人が、家庭教師、個人教授其他英語に關係ある業を求めて居られます（記者）

公娼廢止運動の應援

前號の社說「公娼廢止と本誌」を讀まれて、即日田中芳子樣から、左の理解ある應援と共によい企てをなして下さいました。

今日の週報にて、公娼廢止に私の力をも加へ得らるゝ道お開き下され、誠に〳〵有難く御禮申上候。就ては兩親に主人私に子供五人（四男は天に歸り候へども）の誕生日に每月祝の心にて一錢宛積みて、一年間に一圓八錢と相成候まゝ、二錢を奮發して一圓十錢丈けにし、お手數願ふことに致し候まゝ、よろしく御願ひ申上候。

と其の他大村嘉代子樣の十口を筆頭に、續々お申込みがあります。何れ纏めて發表致すことに致しますが皆樣の御好意を幾重にもお禮申上げます（記者）

編輯室より

▲松本雲舟氏が苦心の全譯「何處へ行く」は、氏の曩きに出版せられたる單行本あり、この兩三年各所に興行して人氣を集めたる活動寫眞もありて、忠臣藏の數百年來繰り返へして、愈よ喝采を博する類でございませうが、然し本誌の新らしい讀者の日に月に加はる折柄、前々の續き合ひが解らぬ爲め、遺憾に思ふ方も多からうと思ひ、前號限り割愛して、此處に短篇「窮鳥」を執筆されました。必ずや興味は一層深いことゝ存じます。▲あはたゞしい花はもう大方散つて、みづ〳〵しい若芽は、驚く斗りの速力に延びて行きます。此處から見ゆる見附の土手は、綠が日に〳〵加はつて行きます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）
人事相談所

婦人週報
（每週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金貳拾錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢　△半年（廿六部）金壹圓拾錢　△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の內側）金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵劵代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行兼編輯印刷人　小橋三四子
印刷所　東京市京橋區銀座四丁目一番地　東京支店　福音印刷合資會社
發行所　東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町　六二番
東洋内科醫院
院長　醫學博士　高田畊安
電話ちがさき二番
南湖院
神奈川縣茅ヶ崎海濱（従停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど新調同様になります
和洋服　外套インバネス　東コート
ネル・セル・ショール
半襟毛皮等のクリーニングと染色を丁寧親切迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際　電話新橋三一〇八

◎産婦人科◎小兒科
宅診午前　往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　吉岡彌生
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町三三五七

齒科
ドクトル　富田貞一
日本橋區高砂町六
（久松町停留場より西一丁）
電話浪花五四〇五

殺菌と血止めに便利なる
【毒消し筆】
一本金拾錢　送料金貳錢
●毒虫、蚤、蚊にさゝれた所の毒を消しかゆみを去り
●創口の血を止めて其場所を殺菌す
●携帯至便●使用簡便●殆んど永久に用ひられる●是非一本を試みあれ
（注意）參錢郵券四枚封入御注文あれば即時發送す
發賣元　目白藥局
小石川區高田老松町十七　振替東京三一六九二

●書籍取次販賣
新本何でも送金次第直に送附（振替四四九六）送費無料
神田表神保町十　書肆　興樂房

産科、婦人科、小兒科
女醫　井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

麴町區飯田町一ノ七
九段坂下停留場傍
家庭的改良下宿
機山館

産婆看護婦　志願者募集
産婆六ヶ月卒業看護婦五ヶ月卒業規則書要貳錢
東京神田小川町
中央産婆看護婦學校　通信

速成生徒募集
個人教授
普通科五十種一ヶ月
高等科五十種二ヶ月
入所入舍隨時
袋物
生花、造花、摘細工、縫細工、綿細工、壜細工、儀式用折神、水引結方、和洋裁縫、
東京九段靖國神社横
大妻技藝傳習所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

女學雜誌

女王

毎月一回 五日發行

四月號既刊

■一部十錢■半年分五十五錢

■一年分一圓(見本申込次第進呈)

□婦人運動の內的効果……エレン・ケイ 山田わか譯

□百年後に於ける婦人……堺利彥

□婦人の社會生活と貞操……宮田修

□結婚と戀愛と優種と……安部磯雄

□婦人同盟を起すの用意……山田わか

□婦人同盟の信條……社說

□婦人の大同盟を起せ……高野重三

□婦人同盟は先精神的同盟でなければならぬ……下田次郎

□ある時(歌)……與謝野晶子

□春三行……西川松子

□戀のたまゆら(創作)……出雲扶貴子

□露西亞の皇族詩人……加藤蓼村

□夜話……山村暮鳥

□聖地エルサレムへ(小說)……ノーベル賞金受賞 ラガリヨフ女史 梁步吟客

發行所 東京麹町區飯田町三丁目二十四 第三帝國社內 女王會 振替東京二七九二〇

肝油服用者之福音

諸大醫の賞讃

肝油球の特効

身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人
冷え性の婦人
肺の惡しき人
貧血にて艶のなき人
油氣の少ない人

最新式の軟質膠球劑絶對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である

三百球入 弐圓
百球入 七十錢
五十球入 四十錢

送料各八錢

發賣元 東京市赤坂區田町五ノ一 工場 東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師 富谷宗吉藥局
電話新橋三百十九番 振替東京七〇八一一番

體力精力增進に今が肝油服用時期

●呉服物なんでも

△問屋より直接取次故必廉價△市內は御報知次第持參地方は御年頃と品物とお知らせ頂き御送附致します

東京下谷區仲徒士町一ノ五五 齋藤ふく子

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

家庭必讀の二良書

高島平三郎先生著

好評四版

菊版總クロース裝釘優美高尚
定價金九十錢 送料八錢

家庭及び家庭教育

昔の詩人は「婦人は泣かざる可らず男子は働かざる可らず」といふた。又更に「女は弱し然れども母は强し」といふた。この二つの語は矛盾して居るやうであるが實はさうでない。婦人は泣く間に無限の力を有して居る。男子が働らくも婦人の泣くに勵まされる爲めである。婦人は弱い處が即ち强いのである。併しその弱くして强い婦人が母となれば一層强くなる。實に婦人の眞の光明、眞の莊嚴は母としてのみ現はれる。冀くは我國の婦人が淺薄なるノライズムなどに惑はされず麗はしき犧牲の精神を以て家庭を通じ兒女を通じて人生と國家とに充分なる寄與をなすに至らん事を。（序文の一節）

奥様と女中

高島平三郎先生序文
福鎌恒子女史著
クロース箱入布製美本
定價六拾錢 □ 送料六錢

好評三版

良い女中が無くて困るとは到る處で聞く奥様の御嘆息ですが良い女中は自然に轉がつて居るものでなく奥様が養成なさる筈の者です此書は良い奥様が苦心して良い女中を養成された實驗に基き春夏秋冬、晝夜朝晩、微に入り細に亘つて女中の心得を說き且奥様の注意を促した女中讀本兼奥様讀本であります。

發行所 東京市麹町區平河町五丁目 振替口座東京二〇一九一四番 洛陽堂 電話番町 四二五八

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA